

物流支える 袋付きシール好調

一貫製造を強みに差別化図る

パピルスカンパニー

配送物と一緒に届けることが必要な納品書や伝票などの必要書類を封入し外箱に貼り付ける袋付きシール「デリバリーパック」が通信販売市場の拡大を背景に数量が拡大している。同製品を開発販売するパピルスカンパニーは、素早く貼れてきれいに剥がせる再剥離タイプ、開封済がひと目で分かるOPENテープ付きタイプ、第三者による開封状況が瞬時に判別できるセキュリティテープ付きタイプの3種類をラインナップに追加し、発荷主と着荷主の双方の利便性を提案している。

新製品の再剥離タイプは、シール部分に再剥離のりを使用することで書類を取り出す際に外箱を傷めることなくきれいに剥がすことができる。また完全密封仕様のため、貼り付けた後に伝票等が落ちる心配がない。

同社はデリバリーパックの後発メーカーでありながら、顧客からのウォンツからニーズを探り、新商品を次々と開発し順調に業績を拡大している。創業当初2品種だった同製品も現在は34品種に増加している。また中国自社工場でのフィルム製膜から印刷、のり引き、スリット、製袋までの一貫製造を行っているため、他社製品と比べて価格帯での差別化を図っている。

代表取締役社長・横山太一氏は「国内市場の顧客ニーズとして、粘着を例に出すと、届くまではしっかり貼り付けたいが、届いた後は剥がしやすくといった二律背反の役割を求められおり、技術的に開発が難しいこともあるが、メーカーとして顧客の声を基にした新しい製品を今後も提供し続けていきたい」と話す。

市場拡大とともに価格競争が激化する袋付きシール製品。他社には見られない一貫製造を強みに品質や価格で差別化を図る同社は、顧客の要望を形にする研究開発に力を注ぎ物流を支えるデリバリーパックをさらに深化させる。SL



素早く貼れてキレイに剥がせる再剥離タイプ